

事業所名 児童発達支援通所事業所 Jump

支援プログラム

作成日 2025年 1月 15日

法人(事業所)理念		利用者の成長をご家族と共有し、共に一喜一憂しながら寄り添っていきます。利用者個々を取り巻く環境に適応できる力を育むために、粘り強く支援していきます。		
支援方針		利用者の心身の発達状況を踏まえて、日常生活を楽しく営めるように、その課題に対する支援の種類を選定して計画すると共に、関係市町村、地域の教育・保健・医療・福祉機関と連携を図り、利用者の生活の質の向上に貢献する事を目的としています。		
営業時間		9時～18時まで	送迎実施の有無	あり <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> (要相談)
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣の獲得(衣服の着脱、食事・トイレ動作など)・整理整頓・時間を意識した行動(持ち物の準備、片付け)		
	運動・感覚	リトミック・運動に必要な感覚の調整(トランポリン、バランスボール)・運動サーキット・体育遊び(跳び箱、マット・縄跳び、鉄棒) 制作活動(道具の使い方、姿勢保持)・巧緻動作(ひも通し、プットイン) ※専門スタッフがお客様の動作分析から発達段階を評価し、個別に応じた支援を行います。		
	認知・行動	指示理解と行動・概念の習得・ルールのある遊び・学習支援・こだわりへの対応・気持ちの切り替え、クールダウン方法を身に着ける		
	言語 コミュニケーション	ことば音楽療法・挨拶や日常会話の習得・円滑なコミュニケーション力・伝える力・語彙力の向上 ※専門スタッフによる構音・言語訓練・評価を行っていきます。		
	人間関係 社会性	SST(社会生活適応技能)・他者視点の獲得・集団遊び(基本的なルールを学び社会性を育む)・話し合い(他者との折り合いをつける)		
家族支援		保護者や兄弟姉妹との関わり方や、家庭での困りごと、心配ごとなどの相談援助・自宅で出来るホームex指導	移行支援	進級、進学などを見据えた将来的な移行支援 進級先や移行先の選択への相談援助や情報提供
地域支援・地域連携		幼、保育園、学校、関係機関との情報連携や支援方法、環境調整等に関する相談援助などの取り組み	職員の質の向上	虐待防止や身体拘束の研修・専門研修に参加し事業所内で伝達研修を実施・ケース会議(症例検討会)
主な行事等		児童発達支援:季節に合わせた制作活動・行事を想定した模擬練習(発表・運動会) 放課後等デイサービス:実際の場面を想定した設定においてSSTを実施		